

一般受託製造産業欄

総投資額は30億円規模

国内・海外 8工場体制へ年内着工、来年竣工へ

化粧品OEM大手のコスモビューティー(東京、大阪の2本社制)の山添隆社長は4月14日(金)、東京・関口のホテル椿山荘東京で本紙のインタビュに応じ、3月期決算の見通しや今後の経営方針・事業戦略について縦横に語った(聞き手は川口副編集長)。



「新しい会社のメッセージとして、『人と社会を綺麗にする会社』というコンセプトを設定した山添社長

3月期売上高は178億円に

—3月期決算の見通し

は「売上高目標は166億円に設定していたが、最終的に前の期の売上高162億円から26億円プラスの188億円に着地する公算が高い。通販ブランドやプライベートブランドを主体とした売上げ上位のクライアントが総じて販売好調だった。また、最近の諸々の時代風を受け、輸出やインバウンドの

好影響も間接的だが寄与した。なお、最も大きな伸びを示したのが中国のクライアントだ。昨年9

月の半期の時点で中国売上高は通期45億円と想定していたが、最終的には40億円と伸び切らなかった。原因の一つとして考えられるのが、中国当局の化粧品許可認可が厳しくなったこと。一方、今年は年初に残業時間の低減と休日出勤ゼロを

第一の目標に掲げたことから政策的に外注を増やしたが、利益面でも過去最高益を達成することができた

—現在、社内的に取り組み強化していることは、一国内市場については昨年同様、通販マーケットのクライアント開拓を進めており、新たに大きな費用をかけて投資を二つ行う。一つ目は、マーケティングとブランドニングの専門家を

—新しい設備投資の計画は、一埼玉県にある関東工場に3本の真空乳化釜、5本の製造釜を増設予定で、このほか、関東方面で新工場設置も検討している。また、昨年ベトナムに第二工場をオープンしたが、年内にはベトナムで第三工場の建設に着手する。竣工は来年を予定しており、投資金額は

講師に招き、営業部門と研究部門の社員全員に勉強会を実施する。二つ目は、社内動画コンテンツを作るプロジェクトで、これは我々が開発した様々な処方

の利点を映像で見える化し、使用感などを動画で配信するサーベスをスタートするためのもの。これらの動画は将来的にクライアントの通販コンテンツに使って頂くことも視野に入れており、また、社内的には広報やリクルーティング活動などにも活用したいと考えている

—新しく建設するベトナム第三工場と中国第二工場は、ベトナム第三工場は第一・第二工場と同じく、日本以上のクリーンな生産環境のもと、豊富で優秀な労働

工場では充填だけを行う「メイドインジャパン」のビジネスモデルがメインになるだろう。一方、中国の工場は、完全に中国の内需に向けた工場だ。また、これは反省点でもあるが、昨年から稼働している中国第一工場は、当初から小ロット多品種生産をテーマにした工場だが、実際に受注してみると、中国の小ロットは我々が考えていた量の10倍量だった(笑)。そのため、新しい中国第二工場は日本の感覚で言うところの大ロット生産の工場になるだろう

—「コスモグローバルビジョン」と称した海外展開の現在の状況と今後の計画は、

「中国の次に我々が進むマーケットとしては中東が候補の一つであり、まずは5月14日からUAEのドバイで開かれる見本市「ビューティーワールドミドルイースト2017」に出展する。このほか、昨年の成果の一つとして、北米マーケットで大手有名ブランドの受注に成功した。これを足がかりに北米マーケットでの受注開拓も進めて行きたい」

—貴社は近年、環境問題として国際的に使用規制や禁止が進展しているプラスチック製マイクروطリス(洗顔フォームなどのスクラブ材として使用)の使用撤廃を目指しているが、「当社はこのほろ新しい

会社のメッセージとして、『人と社会を綺麗にする会社』というコンセプトを設定した。一方、中国の内需に向けた工場だ。また、これは反省点でもあるが、昨年から稼働している中国第一工場は、当初から小ロット多品種生産をテーマにした工場だが、実際に受注してみると、中国の小ロットは我々が考えていた量の10倍量だった(笑)。そのため、新しい中国第二工場は日本の感覚で言うところの大ロット生産の工場になるだろう

—貴社は近年、環境問題として国際的に使用規制や禁止が進展しているプラスチック製マイクروطリス(洗顔フォームなどのスクラブ材として使用)の使用撤廃を目指しているが、「当社はこのほろ新しい

会社は近年、環境問題として国際的に使用規制や禁止が進展しているプラスチック製マイクروطリス(洗顔フォームなどのスクラブ材として使用)の使用撤廃を目指しているが、「当社はこのほろ新しい

会社は近年、環境問題として国際的に使用規制や禁止が進展しているプラスチック製マイクروطリス(洗顔フォームなどのスクラブ材として使用)の使用撤廃を目指しているが、「当社はこのほろ新しい